

新型コロナウイルスに伴うボランティア団体の活動状況に関するアンケート回答（一般）

調査内容と目的：新型コロナウイルスに伴うボランティアの受け入れ状況等の把握のため、活動の現状や課題等について、アンケート調査を行い、ボランティアセンターの支援のあり方や取り組みの参考にするため。特にオンライン研修についての参加希望や利用しているオンライン機器についての把握を目的とする。

回答方法：メール・FAX等

開始日：2020年8月17日

回答期限：2020年8月31日

対象数：町田VC登録団体158団体（一般119団体、芸能39団体）

回答数：82団体（一般63団体、芸能19団体）

回収率：51.8%（一般52.9%、芸能48.7%）

Q1 現在、団体の活動をおこなっていますか。

	はい	いいえ	未回答	合計
団体数	51	10	2	63

Q2-1

Q1で「はい」と回答⇒コロナの影響により活動内容への変更があれば教えてください。

- ・中止または延期
- ・活動場所の変更（リモート、屋外）、規模縮小（人数、時間、回数、分散）
メール、FAX、郵送等を活用（書面会議、勉強資料、会報など。）
通信教育方式の教材を急遽用意
- ・事前準備に時間を要するようになった（参加簿などの記録作成、マスク、消毒、検温）
- ・参加者減→活動内容の縮小→会費減→会の存続
- ・イベントが中止となり物品販売→通信販売

Q2-2

活動をするにあたり、感染予防や団体の活動について工夫されていることがあれば教えてください。

- ・感染予防（検温、マスク、フェイスシールドの着用、手洗い消毒の励行、用具消毒、ガイドラインの順守、3密の回避（ソーシャルディスタンス、参加人数、場所、アクリル仕切り板、換気）
- ・活動時間の短縮・中止、訪問時など使い捨てものを使う
- ・バス・電車等を利用しない方をなるべく優先参加としている。
- ・総会や月例会議はメールでのやり取りや郵送に切り替えて実施している。
- ・対面での活動（ミーティング、カウンセリング等）は極力避け、オンラインを中心に活動
- ・利用者の見直し（必要な方のみ） 利用者との接触において感染予防（物品の受け渡し等）

Q3-1

Q1で「いいえ」と回答⇒活動の再開を考えている場合、いつ頃、再開するのか予定を教えてください。

■考えている

- ・年末、年明け、来年度

■考えていない

- ・感染状況による。今年度は中止。高齢者が多いため、外国人対象のため感染時は国際問題になるかも。

Q3-2

コロナ禍で活動するにあたり、マスク、アルコールなどの購入費用、インターネットの利用に関する費用、会場変更の際の使用料、講師代など資金面やインターネット利用についてのレクチャーなど活動のサポート等、必要な支援や課題があれば教えてください。

【衛生面】

- ・感染予防の為に環境整備に必要な物品（特に団体で所有が難しい大きな物、高価なもの）
- ・衛生物品購入資金の支援
- ・活動再開になった時に、環境整備の具体策など教えて欲しい。
- ・各自の感染対策はできても、他のグループと共有する物品を使用する際の安全基準
- ・感染予防に留意した対面ミーティングの方式について具体的なガイダンス

【インターネット、設備関係】

- ・ZoomやSype、LINEによるリモート会議の講座開催や講師のサポート等
- ・Wi-Fi環境整備をお願いしたい。ネット回線を引く場合、社協からの支援

【運営面】

- ・今後の活動資金に不安がある（会場日、講師代）、活動資金の調達（通販）
- ・通信販売についての講演、これからのボランティア活動資金が聞いてみたい。

【施設利用】

- ・現在状況、参加者確保が難しいため、部屋利用（キャンセル、時間、人数）に寛容さを。

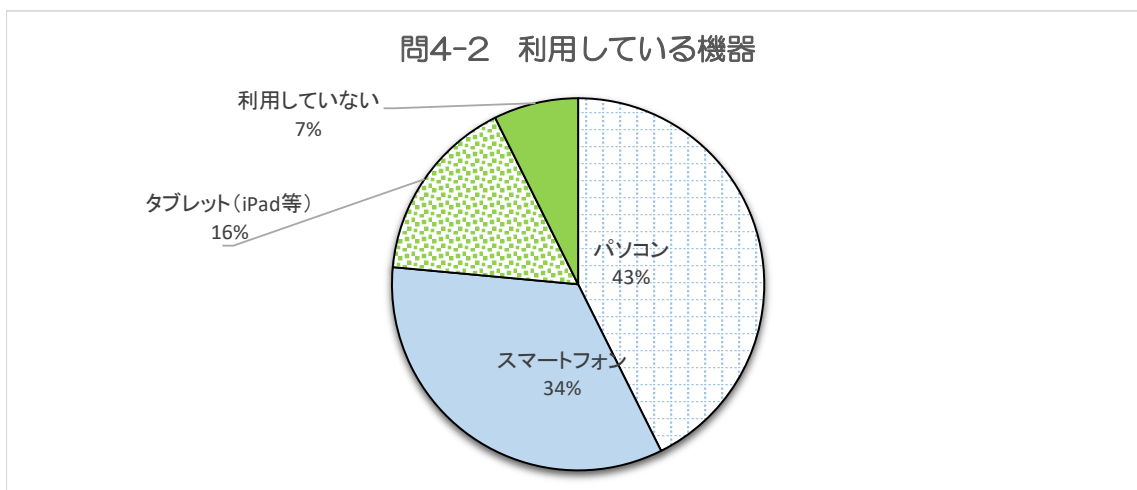
Q4-1

コロナの影響が出ているこれまであった繋がりについて、何とか続けていくためにインターネットの活用をされていますか

	はい	いいえ
団体数	26	30

Q4-2 利用している機器を教えてください。

	パソコン	スマートフォン	タブレット (iPad等)	利用していない
合計	29	23	11	5



Q5. Q4-1で回答した機器で、どのような活動をしていますか。

- ・オンラインでのスタッフ会議、オンライン練習会、団体活動、事例研究など
- ・リモート学習指導・支援活動
- ・団体・広報活動（HP、ブログ、YouTube機関紙の配布）
- ・資料の作成・修正等。

Q6. インターネットを活用したテレビ電話や「Zoom」、「Line」など、オンラインについて学ぶ講習会を企画していますが、参加してみたいですか。

	はい	いいえ
団体数	35	15

Q7. その他、ご要望等ございましたら、ご自由にご記載ください。

【通信関係】

- ・高齢者が多く、PC、スマートフォン等の利用者も少数の為、リモート会議は難しい状況。高齢者への対応をお願いしたい。
- ・Wi-Fi使用、タブレット等端末の貸出し等、ボランティアセンターでネット環境を整備
- ・リモート会議を開催してみたが盛り上がり欠ける。人数を絞ってFace to Faceで
- ・講習会のターゲットを明確にして欲しい。障がい者対応もしているのか？参加の日程等の調整が難しい状況。
- ・当団体はFAXは全員に通じるので貴重。FAXでのやり取りがほとんど。
- ・個人宅での傾聴希望があった場合、電話で話し相手をする事は可能か？

【衛生面】

- ・消毒、予防、3密解消のためのハードを備えて
- ・小中学校からのボランティア依頼も増のため、感染防止器具の充実や感染の際の補償
- ・各利用団体の3密回避対応を把握し、情報提供・助言を。
- ・福祉体験学習依頼時は、使用前後の器具等の消毒は学校側をお願いしてほしい。また、学校公開日などの依頼にも制限をしてほしい。

【ボランティアセンター関係】

- ・施設利用の急なキャンセルには、当面ペナルティが発生しないようにしてほしい。
- ・感染対策であればやむを得ないが、講習室の前に長椅子が無くなり高齢者にとって不都合。
- ・適当な時期に施設管理部門としての安全宣言を要望する。
- ・印刷の外注は資金面で難しいので、ボラセン印刷機を使用禁止にしないで欲しい。
- ・ボランティア講座などのはチラシ以外でも情報発信してほしい。

【その他】

- ・この状況でもできるボランティアをも押し進めてほしい。
- ・他のボランティア団体等の工夫や取り組みの情報交換の場を設けてほしい。
- ・ボランティア団体で物品販売できるサイトを作ってほしい。（あいちゃんクッキーも）
- ・新規入会者が行き帰りにガイドヘルパーを利用できない状況を改善してほしい